

## ★通常事業評価シート【R7年度実施事業／消防本部総務課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰・何をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	消防団事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	地域防災力の充実強化を図るため、消防団員の育成並びに消防機器の更新や整備を適切に行う。	教育訓練の実施や保有資器材を整備した。	4：大いに近づいた	継続	10,350	9,030	19,380	地域防災力の充実強化を図るため、引き続き教育訓練及び資機材の充実強化を図っていく。	国等からの財政支援を積極的に活用することで装備の近代化や資機材の充実を図っていく。	
2	消防機器管理事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	消防活動を円滑に実施するため、消防機器を適切に管理する。	消防機器の点検や修繕を実施した。	4：大いに近づいた	継続	2,905	3,386	6,291	有事に備え、消防機器の点検を引き続き計画的に実施していくと共に故障等した消防機器については早急に対応する。	災害出場や消防業務に影響が出ないよう、自主点検に努め消防機器の維持管理を行っていく。	
3	消防機器整備事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	消防機器の充実、高度化を図るため、機器の更新や整備を適切に行う。	消防機器や防火衣等を更新、整備した。	4：大いに近づいた	継続	10,950	3,386	14,336	消防力を発揮するため、消防機器等の更新や整備を計画的に実施していく。	安定した消防力を維持するため、国や府の補助金を活用し消防機器の整備に努める。	
4	消防職員研修・育成事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	消防職員の資質向上を図るため、研修の企画運営を行う。	消防学校・大学校・救命士派遣事務や各種資格取得講習を実施した。	4：大いに近づいた	継続	8,048	6,773	14,821	消防業務における専門的な知識・技術は年々進化していることから、引き続き消防職員の各種学校派遣や資格取得への派遣の充実を努める。	消防業務に必要な学校派遣や各種資格取得を計画的に実施し、取得人数の増加に努める。	
5	消防庁舎等管理事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	消防庁舎の施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	消防庁舎や設備についての点検や修繕を実施した。	4：大いに近づいた	継続	40,477	6,773	47,250	防災活動拠点としての機能を維持するため、引き続き消防庁舎や設備に関する点検や修繕を計画的に行っていく。	庁舎や設備に関して、不具合を未然に防止できるよう、自主点検を実施し維持管理に努める。	
6	消防本部総務事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	消防本部の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	職員の被服の購入、貸与を実施した。職員の健康診断、予防接種を実施した。	4：大いに近づいた	継続	15,680	13,169	28,849	消防業務に支障が出ないよう、引き続き職員の被服や消防用品を計画的に貸与できるように努める。	消防業務を円滑に実施できるよう、消防職員に貸与する消防用品の更新を図る等充実強化に努める。	
7	公共公益施設整備基金積立事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	消防施設の整備資金に充てるため、公共公益施設整備基金を適正に管理する。	自動販売機の貸付料に対する基金の積み立てを実施した。	4：大いに近づいた	継続	-	753	753	特になし	特になし	
8	消防本部総務課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	消防本部総務課において、各課の事務事業の共有を図り円滑な業務を実施した。	4：大いに近づいた	継続	-	31,686	31,686	消防本部の円滑な運営を遂行するため、引き続き各課の事務事業等の共有を図り効率的な事務を行う。	消防本部の円滑な運営を遂行するため、各課の事務事業の共有を図り更なる事務の効率化を行う。	
9	ゆめみヶ丘消防施設整備事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	防災力の向上を図るため、消防施設等の整備を行う。	特になし	0：進捗なし	廃止	-	3,763	3,763	-	-	
10												